児童に見られるつまずき

　相手の一番伝えたいことをとらえ、考えの共通点・相違点を見つけながら話し合うことができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　話し合いの様子を客観的に見られる「観察グループ」を作り、考えの共通点や相違点を的確に捉えたり、共通点や相違点の良さを見つけることの必要性に気付いたりできるようにする。

指導事例集ｐ．２１

１　学年・単元名　　第３学年　幼稚園さんに学校生活の様子をつたえよう

『つたえよう、楽しい学校生活』（話すこと・聞くこと）

２　単元目標

　　互いの考えの共通点・相違点を見つけ、それをいかして合意形成の話し合いを行うことができる。

３　本時目標

互いの意見の共通点や相違点を意識しながら、進行に沿って「幼稚園児に説明してあげたい学校生活の魅力」について話し合う。

資料：ワークシート②③⑤

４　本時の展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| １　単元目標と本時の目標を確認する。    「話し合いのワザ」を使って話し合い、どんなことをようち園さんに説明するか決めよう。    ２　「話し合いのワザ」を確認する。    ワークシート③参照  ３　全６班を３班ずつ以下のグループに分けて活動する。（５分ずつ交代する）  話し合いグループ　話し合いを行う。  ワークシート②使用    観察グループ　話し合いの様子を観察し、気づいたことをワークシートにメモする。  ワークシート⑤使用  ４  **思考・判断を促す課題：話し合ったり、話し合いの様子を観察したりして気付いたことを発表し、話し合いの続きをより上手にする方法を考える。**  よりよい話し合いにする方法を考える。    ５　話し合いの続きを行い、意見をまとめる。    ６　本時のふり返りをする。    ワークシート⑤使用 | ・本単元で学習するめあて達成に向けて、本時の学習をおこなうことを意識させる。  ・これまでにまとめた「話し合いのワザ」を振り返り、話し合いで大切なことを意識させる。  ・話し合いグループには自分の考えを整理したワークシートを手元に用意させ、発言の材料とさせる。  ・このあと話し合いを一旦中断し、改善点等について考えることを知らせておく。（まだ意見をまとめなくてよいことを理解させる。）  **・観察グループを作ることで、話し合いの様子を客観的に見て、共通点や相違点をとらえられるようにする。**  ・めあてに立ち返らせ、相手や目的、「話し合いのワザ」を使うことを再度確認する。  ・板書の内容を意識して話し合うよう呼びかける。  ・タイマーを使って時間を意識させ、意見をまとめることを大切にさせる。  ・話し合いが上手だった友だちの名前を挙げさせ、その理由も書かせるようにする。　　←※中間評価 |